
令和元年度台風１９号による被害







災害から命（いのち）を守るために

私たちができること













登米市立津山中学校

令和３年度の取組

「令和元年度台風１９号の被害マップを作成しよう」

・被害マップ作成
・防災講話　東北大学災害科学国際研究所　准教授　佐藤翔輔先生
　「フィールドワークの行い方と被害マップ作成のポイント」

令和４年度の取組

「ハザードマップを基に，自分たちの住んでいるところの想定される被害について考えよう」

・被害想定マップの作成
・防災講話　東北大学災害科学国際研究所　准教授　佐藤翔輔先生
　「ハザードマップの見方」

令和５年度の取組

「被害マップ・被害想定マップを地域の方々と共有し，災害から命を守るための具体的な行動を考えよう」

・地域との交流会
・防災講話　東北大学災害科学国際研究所　准教授　佐藤翔輔先生
　「学んだことを発信する方法」

目次

Ｐ１　本町１丁目・本町２丁目・本町３丁目

Ｐ３　本町４丁目・宮町・小川町

Ｐ５　黄牛・入沢・石貝

Ｐ７　元町・平形・下在

Ｐ９　横山１区・横山２区

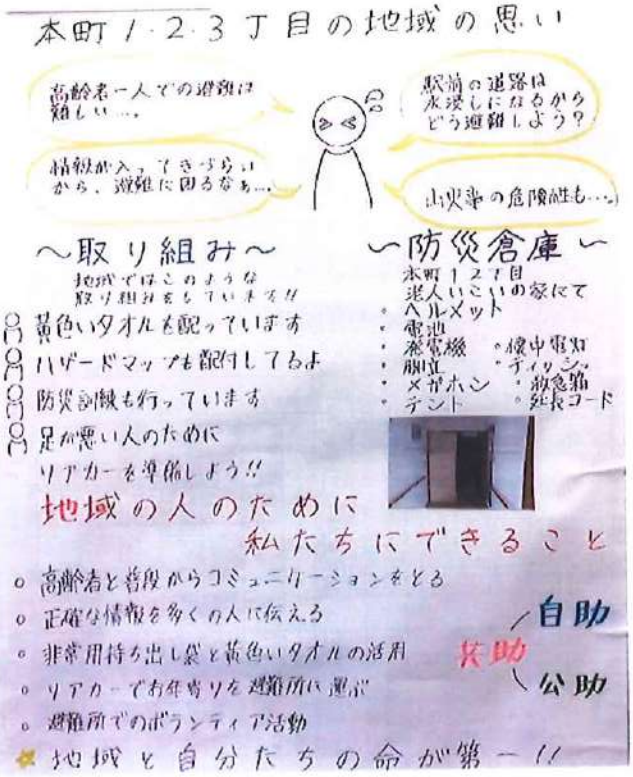
Ｐ11　横山３区・横山４区・横山５区

Ｐ13　横山６区・横山７区・横山８区

Ｐ15　横山９区・横山１０区・横山１１区

本町１丁目・本町２丁目・本町３丁目





地区名【 本町1.2.3丁目 】

地域の方々が中学生に期待すること

・高齢者の避難の手助け
・情報が入りづらい人への声がけ
・駅前の道路は水浸しになるので避ける
・山火事の危険性もあることを知っておく

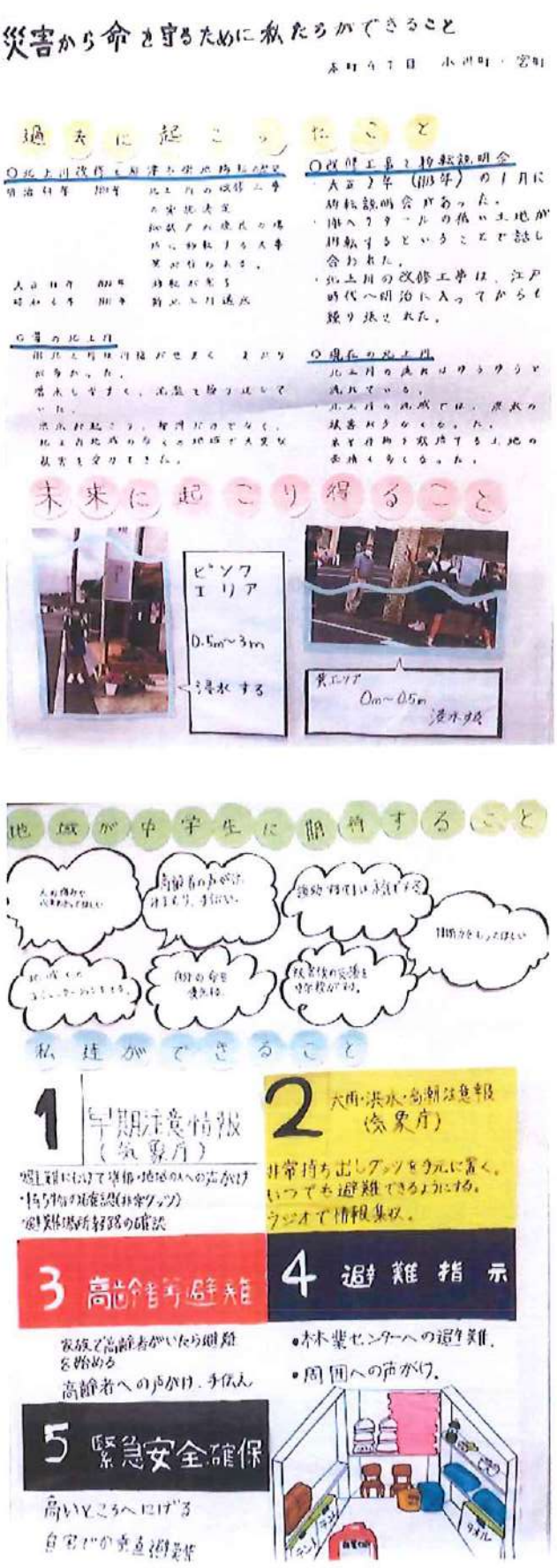
災害時に私たちができること

・高齢者と普段からコミュニケーションをとる
・正確な情報を多くの人に伝える
・非常用持ち出し袋と黄色いタオルの活用
・リアカーでお年寄りを避難所に運ぶ
・避難所でのボランティア活動

防災学習を通して学んだこと

・自分たちの住む地域ではどんな被害が起こる可能性があるのかを知ることの大切さ
・災害への知識と備え
・日頃から地域の人と交流して助け合うことができるようにしておくこと

本町４丁目・小川町・宮町


災害から命を守るために私たちができること
本町４丁目　小川町・宮町
過去に起こったこと
○北上川改修と新津小学校移転の経緯
○改修工事と移転説明会
○昔の北上川
○現在の北上川
未来に起こり得ること
ピンクエリア
0.5m~3m
浸水する
黄エリア
0m~0.5m
浸水地
地域が中学生に期待すること
私達ができること
1 早期注意情報（気象庁）
2 大雨・洪水・高潮注意報（気象庁）
非常持ち出しグッズを玄関に置く。
いつでも避難できるようにする。
ラジオで情報収集。
3 高齢者等避難
4 避難指示
•木本業センターへの避難。
•周囲への声がけ。
5 緊急安全確保
高いところへにげる
自宅にが最も避難

地区名【　本町4，小川町，宮町　】

地域の方々が中学生に期待すること

・人の傷みや心のことを分かってほしい。
・高齢者の声がけ，見守り，手伝い。
・援助する側は本気でする。
・判断力をもってほしい。　・自分の命を優先する。
・地域とのコミュニケーションをとる。
・被害後の支援を中学校がする。

災害時に私たちができること

1、早期注意情報 避難における準備。 地域の人に声がけ。	2、大雨、洪水、高潮注意報 非常持ち出し袋をもち，いつでも避難できるように準備をする。ラジオでの情報収集。	3：高齢者等避難 家族で高齢者がいたら避難を始めたり，高齢者への声がけ，手伝いをしたりする。
4、避難指示 林業センターへの避難や周囲への声がけ。	5、緊急安全確保 高いところへ逃げたり，自宅での垂直避難をしたりする。	

防災学習を通して学んだこと

・災害が起きたときは自分の命を最優先に守ること。
・災害が起こる前に素早く避難すること。
・もしものことを考えること。
・日頃から地域の人たちとのコミュニケーションをとること。
・地域の人たちとの交流

石貝・黄牛・入沢



災害から命を守るために
私たちができる事
黄牛・入沢・石貝地区

過去に起こったこと
・220cm浸水
・床上浸水
床下浸水
・雨量…1時間69mm
累計372mm

未来に起こりうること
・土砂災害　・北上川決壊
・冠水　・池濫　・建築物の損傷

地域で取り組んでいること
石貝地区
・52家庭を7つの班に分けて役員を配置。防災訓は×…
黄牛地区
・水害がない地区・北上川の洪水が1番怖い…(黄牛川は災害が起きやすい)
入沢地区
・10年ほど改修が進んで×
・地震に強いが雨に弱い
地域が中学生に期待すること
・災害がおきたら率先して行動
・防災意識を高め皆に伝えること
・命が助かるような取り組み…
災害時に私達が出来る事
・何か出来る事はないか積極的に行動
・地区の防災意識を高める
・事前に家族と避難所などの確認をしておく。

地区名【 石貝・黄牛・入沢 **】**

地域の方々が中学生に期待すること

・災害がおきたら率先して行動すること
・災害時、命が助かるような取り組み
・防災意識を高め、皆に伝えること

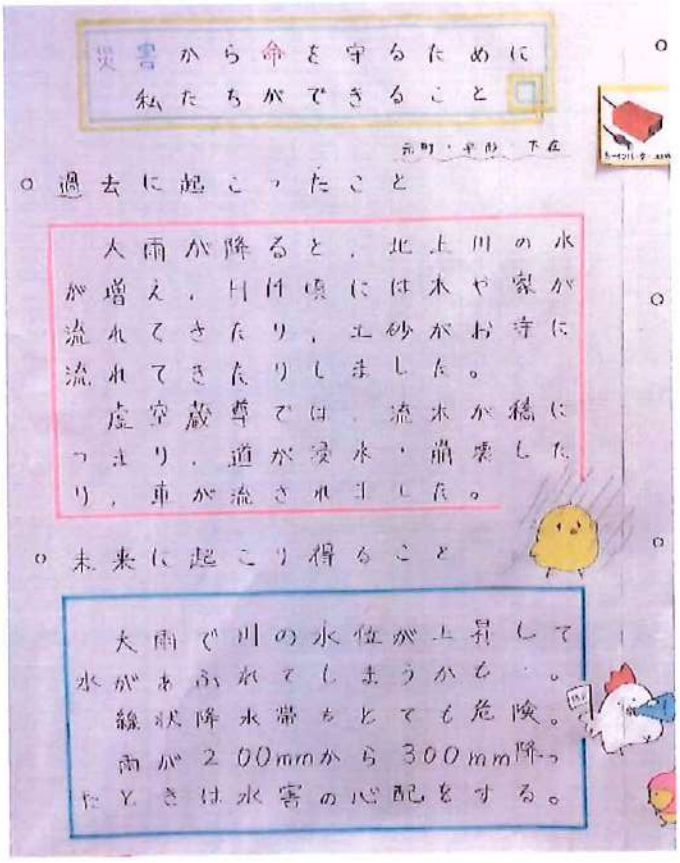
災害時に私たちができること

・何かできることはないか積極的に行動
・地区の防災意識を高めること
・事前に家族と避難所などの確認をしておく

防災学習を通して学んだこと

・事前にどこに被害が出るのかを確認しておくことで、すぐに避難が出来る
・地域の取り組みについて詳しく知ることができた
・災害時に、一人だけではできないことが多いから、みんなで協力することが大切だということを学んだ
・地域の人達が中学生に期待することが分かった

元町・平形・下在


災害から命を守るために
私たちができること
元町・平形・下在
○過去に起こったこと
大雨が降ると，北上川の水が増え，日付頃には木や家が流れてきたり，土砂がお寺に流れてきたりしました。
虚空蔵尊では，流木が橋につまり，道が浸水・崩壊したり，車が流されました。
○未来に起こり得ること
大雨で川の水位が上昇して水があふれてしまうかも。
線状降水帯もとても危険。
雨が200mmから300mm降ったときは水害の心配をする。


○地域で取り組んでいること
インバータや簡易トイレ等、
防災倉庫には大震災を生かし
様々な場合に備えた物があった。
○地域が中学生に期待すること
自分で避難する判断ができる
常に災害のことを意識する
地震のことも考える
○災害時に私たちができること
声がけ、高齢者をサポート
自主的に判断し、早めに避難
避難所で積極的に手伝う
自分の安全を第一 自分>家族>隣人

地区名【 元町 ・ 平形 ・ 下在 **】**

地域の方々が中学生に期待すること

自分で避難する判断ができるようになること。

常に地震などの災害が起きたことを意識して、行動すること。

災害時に私たちができること

声がけや高齢者をサポートし，自主的に判断する。

早めに避難し、避難所では，積極的に手伝う。

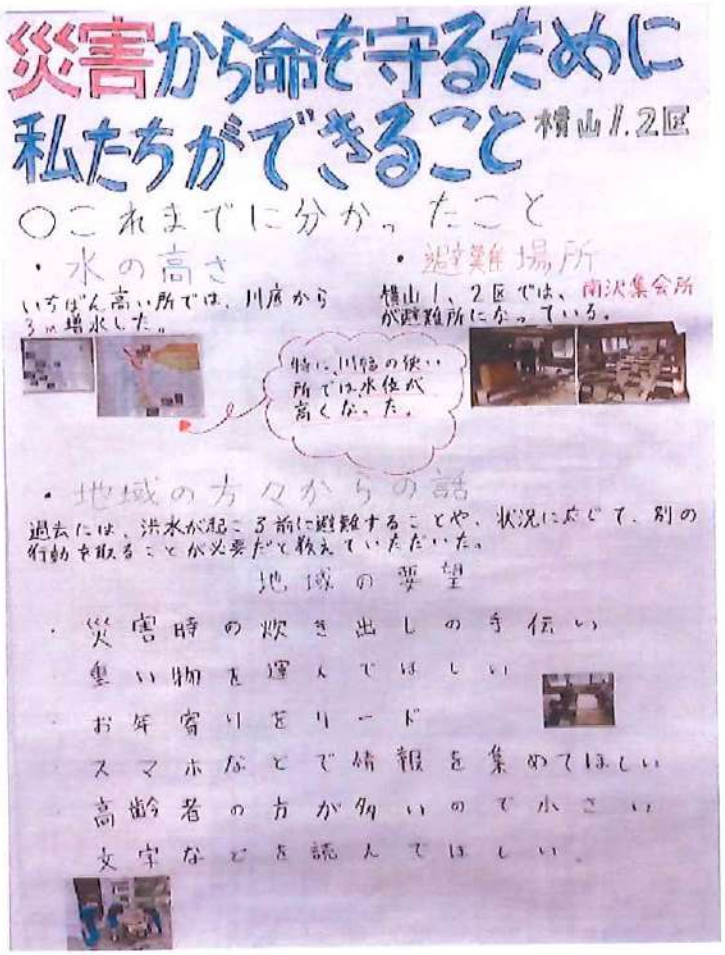
自分の安全第一！　自分 > 家族 > 隣人

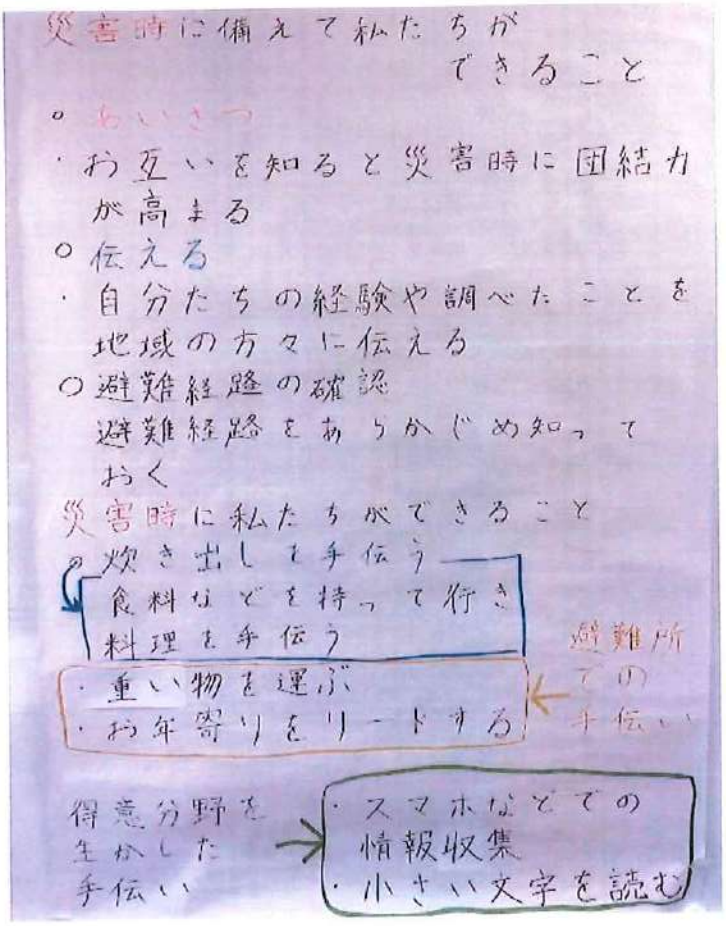
防災学習を通して学んだこと

住民の方々と意見を交わすことで、今まで起こった災害のことや、元町や平形、下在地区は洪水が発生すると約8m侵水してしまうことなど、自分たちが知らなかった被害を学ぶことができました。

防災学習で学んだことを今後の生活に活かしていきたいです。

横山１区・横山２区


災害から命を守るために
私たちができること
横山1.2区
○これまでに分かったこと
・水の高さ
いちばん高い所では、川底から
3m場水した。
・避難場所
横山1、2区では、南沢集会所
が避難所になっている。
特に、川沿の低い
所では水位が
高くなった。
・地域の方々からの話
過去には、洪水が起こる前に避難することや、状況に応じて、別の
行動を取ることが必要だと教えていただいた。
地域の要望
・災害時の炊き出しの手伝い
重い物を運んでほしい
お年寄りをリード
スマホなどで情報を集めてほしい
高齢者の方が多いので小さい
文字などを読んでほしい。


災害時に備えて私たちが
できること
○もいさつ
・お互いを知ると災害時に団結力
が高まる
○伝える
・自分たちの経験や調べたことを
地域の方々に伝える
○避難経路の確認
避難経路をあらかじめ知って
おく
災害時に私たちができること
○炊き出しを手伝う
食料などを持って行き
料理を手伝う
・重い物を運ぶ
・お年寄りをリードする
避難所
での
手伝い
得意分野を
生かした
手伝い
・スマホなどでの
情報収集
・小さい文字を読む

地区名【 横山 1・2区 **】**

地域の方々が中学生に期待すること

・重い荷物を運ぶ
・スマホで情報を集める
・お年寄りをリードする

災害時に私たちができること

・炊き出しの手伝い
・お年寄りの方々をリードする（避難する場合）
・スマホなどで情報を集める
・重い荷物を運ぶ

防災学習を通して学んだこと

防災学習を通して地域の人と交流したりすることはとても大切で良い機会だと思いました。
実際に地域の方々から話を聞くことで，自分たち生徒だけでは分からなかったことが知れたりして興味を持ったり新しい発見がありました。私たちが行ってきたこの活動をこれからも続けていくことで防災への意識がより高くなると思います。

横山３区・横山４区・横山５区

被害マップから分かること

- 大雨により地盤が緩み道路が一部崩壊
- 南沢川から４５号線沿いに50cm～80cmの床上浸水が起こった。
- 川が氾濫し、田んぼなどに被害が出た。
- カーブで川の流れが衝撃となり、道路がえぐれ通行困難となる。
- 国道線付近は1m以上浸水する。
- 地域に数ヶ所一時避難所があり災害時に移動できるようあらかじめ知る必要がある

予想マップから分かること

地域で心がけていること

自助

- 避難所の確認。
- 日頃からの避難の準備。
- 家の周りを塀で囲ったりして、家の周りを守る。

共助

- 地域で声かけをする。
- 高齢者や一人暮らしなど、避難が難しい家をはあくしておく。
- 地域で交流を深める。

その他

- 行政に頼んで道路や水路の改修工事をしてもらう。

地域の方々の話

- 南沢地区では、２つの川から氾濫し、土砂や木なども流れてきた
- 消防団で地域を周るが、全部の家を見ることはできなかった
- 水で流された石が勢いで木にはさまった。

総括

- 早く避難することは大切で、情報を常に確認することが必要です。
- また、この地域で暮らすには、様々な工夫が必要です。

・コミュニケーション
・自助　共助

地区名【 横山 3、4、5区 **】**

地域の方々が中学生に期待すること

・近所や地域の人を知る。

・地域での交流を深める。

災害時に私たちができること

・避難時の声がけ。

・高齢者の事前避難の手伝い。

防災学習を通して学んだこと

・3、4、5区は非常に浸水しやすく、逃げ遅れると避難できなくなるので、災害の情報をいち早く確認して事前避難することが大切。

・このような地域での協力をいざという時にすぐ行えるよう、普段から地域での交流を深め、団結力を高めることで、災害時に最善の行動をとることができる。

横山６区・横山７区・横山８区

災害から命を守るために私たちができること

横山6,7,8区

過去に起こったこと
- 台風19号で大雨が降り洪水が起こり、家が浸水した。
- 川が氾濫した。
- 土石崩れが起きた。
- 砂防ダムの役割を果たせなかった。
- 道路が冠水して、車が通れなかった。
- ガードレールが水圧によって曲がった。
- 昭和22年に大火が起った。

未来に起こり得ること
- 浸水深が[redacted]
- 砂防ダムが機能しなくなる
- 土石流がくる
- 崩壊する恐れがある急な土地があり、危険。

〈地域で取り組んでいること〉
- 発電機が常備されている(6,8区)
- 非常時持ち出しリュックを配布している(8区)
- 津山町横山防災地図を作成し、全ての家庭に配布している
- 避難行動要支援者への支援計画を作成し、1人暮らしの高齢者が災害時や調子の悪い時に活用している
- 横山防災のしおりを作成している
- 防災訓練(8区)

〈地域が中学生に期待すること〉
- ボランティア活動
- 水害以外の災害について考える
- 自分の身を守る方法を考える

〈災害時に私たちができること〉
- 3年間の取り組みを踏まえて、考える
- 被害マップ、被害想定マップ、新たな避難情報に関するチラシの作成
- 災害が起こった後のボランティア活動
- 高齢者や避難が難しい人の手助けをする
- 自分の身を守る行動をする
- 避難の声がけ
- 平時に家族と避場所、非時持ち出しリュックを確認して日頃から災害について考える

地区名【 横山 6・7・8区 **】**

地域の方々が中学生に期待すること

- 災害が起こった後のボランティア活動。
- 水害以外の災害について考えたり調べる活動をしてほしい。
- 自分や家族など大切な人たちの身を守る方法を考えてほしい。

災害時に私たちができること

- 3年間の取り組みを踏まえて，考え，行動すること。
- 被害マップ、被害想定マップ、新たな避難情報に関するチラシの作成。
- 災害が起こった後のボランティア活動。
- 高齢者や避難が難しい人の手助けをする。
- 自分の身を守る行動をする。
- 避難の声かけ。
- 平時に家族と避難所，非時持ち出しリュックを確認して日頃から災害について考えること。

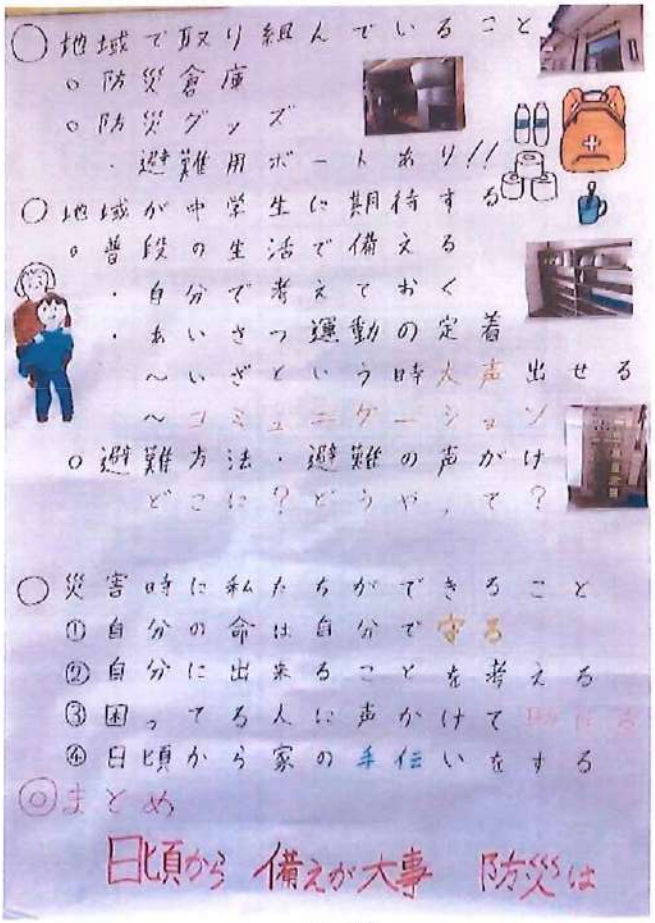
防災学習を通して学んだこと

- 災害が起きた時は自分の身を守る行動をすること。
- 避難時に声かけをすること。
- 自分の地区の災害で危ない場所知っておく。
- 高齢者など避難が難しい人を積極的に助けることが大切だということ。
- 災害が起きた時に心が危険でどこが安全かを見て行動すること。
- 水害以外の災害を教えてもらい、以前に起こった災害について学ぶことができた。

交流会の時に、地域の方から

横山９区・横山１０区・横山１１区





地区名【 横山9・10・11区 】

地域の方々が中学生に期待すること

・普段の生活が防災にも生かせるので意識してほしい。
例) あいさつ運動 ・防災訓練
・もし災害が起きた時に地域の人に声を掛けてほしい。

災害時に私たちができること

・地域に呼び掛けを行い
・自分の命は自分で守る
・自分に出来ることを考える
・日頃から家の手伝いをする

防災学習を通して学んだこと

・3年間防災学習を行ってきましたが，去年までは台風19号についてまとめていたので洪水についてよく知らべていました。けれど，今年からは地域での交流会も通して，地域の方々に私たちの知らない過去の災害について教えていただいたおかげで洪水についてのことだけではなく，他の災害の避難の仕方について学んでいかなければならないと感じました。